

石巻の復興支援に ムサビ生の作品が 必要です。

被災地 石巻から、全てが流された町の、駅に、店舗に、宿に、
元気な学生諸君の《未来があり元気になる作品》を展示したいと、
武蔵野美術大学にお願いが届きました
皆さんの、絵を描く力で、復興の支援に協力をお願いします。

本学の客員教授である林家たい平さんが、震災後に何度か被災地を慰問に訪れているなかで、
石巻市観光協会会長から、武蔵野美術大学の学生による《未来があり元気になる作品》を
復興支援のために寄贈してもらえないかというお願いを受けました。

石巻は震災被害が特に甚大な地域で、町が壊滅状態のなかで商店街は、住民の日常を一日も早く
取り戻すために、少しずつ復興に向けて努力しています。この度の企画は、各店舗は十分な状態
ではないものの、「学生の作品の力」によって、復興に向けて頑張る市民を応援し、勇気づけ、
美しいものを見る喜び、そして将来に向かう元気を、みんなに届けようというものです。
作品は JR 石巻駅構内、商店街の各店舗、ホテルロビーや客室等に展示予定です。

●作品の条件

- [1] 「夢」「未来」「元気」「絆」「支え合い」などをテーマにした平面作品。油絵、日本画、デザイン画、
写真など、ジャンルは問いません。
- [2] 現地は全てのものが流されてしまい、作品展示に十分な手当が出来る状態ではないので、
作品は、額装やパネル化など、手を加えなくとも直ぐに展示できる状態のものが望ましいです。
- [3] 展示場所の確保の関係で、今回は平面作品に限定します。サイズは最大で B0 (1,030×1,456mm) 以内
をお願いします。
- [4] 作品は、寄贈というかたちになります。

●スケジュール

企画賛同者は夏期休業前にメールで申し込みをして下さい。休み中に作品を制作して、9月16日（金）迄に
作品を芸術文化学科研究室（9号館 611）に提出して下さい。芸術文化学科が取りまとめを担当しています。
作品には「タイトル」「作者名」に加え、作品制作の思いをカードに書いてもらい、添付します。
9月末か10月には搬送し、現地と相談の上で展示作業を行います。
記録のためにプロジェクト全行程と協力者を冊子にまとめ、終了後に報告として協力者に配布します。

●エントリーの方法

学科、学年、氏名を右記にメールでエントリーして下さい。研究支援センター kenkyu@musabi.ac.jp

武蔵野美術大学《石巻支援アート押しプロジェクト》

●問い合わせ先：芸術文化学科研究室 TEL 042-342-6712、研究支援センター TEL 042-342-7945